

岐阜県岐阜市



長良川の流域文化継承から 学ぶ、イノベーション創出

鵜飼・お座敷遊び・和傘...岐阜の長良川流域の伝統文化・産業は、資金繰りや承継者不在など衰退の危機に直面しながらも、様々なプレイヤーが、イノベーション創出に挑み続けています。時代の変化に合わせた新たな価値を提供するコンテンツとして、復活しはじめています。逆風を跳ね返して伝統を紡いでいくリーダーの苦悩や挑戦と、文化を支え、イノベーションに挑む職人や仕掛け人の試行錯誤に出会いながら、地域課題を実感し、新たな視座獲得につながる機会をお届けします。

リーダーシップ

イノベーション

地域課題・伝統技術



特徴

岐阜は名水長良川流域を中心に美濃和紙・和傘・刀鍛冶そして、繊維業等の伝統地場産業が栄えた町です。1300年続く伝統漁「鵜飼」も有名です。しかし、多くの伝統産業は衰退に直面し、新たなイノベーション創出が求められているのが実情で、市場縮小や承継者不足など多くの課題に直面しています。そうした逆境に、新たな視点や価値観で挑む、「野生の起業家」や二代目三代目の後継者は確かに存在しており、新たな事業創出に取り組んでいます。モデルツアーでは、衰退を続ける流域文化にひとつの産業の復興だけでなく、町全体の経営視点を持って取り組むリーダーに出会うことができます。

コンセプト

- ・マクロ視点で町の変化や町に根付く文化を俯瞰し、ミクロ視点でイノベーションの事例に触れる。
- ・それらを実現していった、変革のリーダーと出会う。
- ・衰退をはね返す視座を獲得し、自身や組織を振り返る。

対象となる人

- ・様々な環境変化に向き合い、新たな事業創出や変革に取り組む方
- ・現場から管理に立場が変わり、指揮を執っていく立場になった方
- ・SXなど社会的要請に対応した組織作り、人材育成に取り組む方

モニターツアーの内容

- ・参加者全体でのチェックイン課題意識のシェア
- ・衰退産業のイノベーションの現場視察と新たな価値創出を実現するリーダー講話
- ・自治体や伝統職人など多様な関係者を巻き込んだまちづくりのモデル実感
- ・伝統地場産業の担い手問題を解決する新たな働き方を提案する地域の人事部
- ・伝統文化や長良川流域文化の産業を担う「野生の起業家」講話
- ・五感で味わう、長良川の伝統食・芸・文化

出会える人



浦 勇介さん

NPO法人 ORGAN 理事長・創業者
長良川の恵みによる流域の文化を学ぶ中で、川への感謝と源流の山への信仰が深く結びついていることを知る。岐阜和傘や水うちわ、芸舞妓との船遊びなど、長良川文化を復活させている仕掛け人



前田 健吾さん

岐阜和傘の傘骨づくりをする「骨氏」。大手自動車メーカーのエンジニアから骨氏へと転身し、3年間の修行を経て独立。骨氏は日本に4名程しかおらず、その中の最若手。「野生の起業家」



大橋 博行さん

有限会社大橋量器 3代目社長
大手外資系IT企業勤務後、跡継ぎとして大垣にUターン。岐阜県大垣市が日本の杓の約8割を生産している一方で、需要が激減。新たな商品企画や営業を实践型インターン生と共に取り組む中で社内改善を行い、現在平均年齢20代にまで若返る老舗ベンチャーに。

三重県尾鷲市



発電所の廃止・街の変革 その渦中にある挑戦に出会う

2018年街にあった火力発電所が廃止・解体された。今日このような街の産業の変革は世界中で起きており、尾鷲は今まさにその変革を迫られている街なのである。その中で火力発電所の下請け業務から、地元に残って、その風景を守るため、オフグリッドキャンプ場に業態転換し挑戦している企業もある。産業構造の変革の渦中にある尾鷲で、様々な立場での変革の捉え方と挑戦に出会う。

生物多様性

脱炭素

新しい学校



特徴

三重県尾鷲市は高齢化率45%、人口15990人。かつて栄えていた一次産業が衰退し、少子高齢化が進んでいる地方の象徴的な町です。

2018年には約60年間稼働した火力発電所が、廃止・解体となり、町の産業構造が大きな変化の時を迎えています。地域活性・地域創生から次のテーマへ。社会課題の先端地として私たちが直面しているのは『トランジション』です。世界が持続可能な方向にシフトする中で、今後多くの地域が同じ課題に直面すると言われています。今、まさにその渦中にある町の様々な挑戦や価値観の変化を体感していただきます。

コンセプト

コンセプトテーマは「ジャストトランジション」です。私たちの街はその代表的な場所であり、その挑戦を行なっています。地域の実践者に会い、リアルな変革の現場に触れ、世界最先端のトランジションについて学んでいただきます。

対象となる人

経営幹部または幹部候補生（役員クラス～課長クラスなど）、プロジェクトリーダーなど。※プライム企業2社から人材出向受け入れ実績あり

【研修で目指すべき姿】

地域のリアルなトランジションを体験し、新たな視点を持つことで自社の事業を再構築する。

モニターツアーの内容

- ・尾鷲市の概要をつかむ。街並みを見学
- ・火力発電所の下請け業務から、地域に根ざしたオフグリッドキャンプ場に業態転換した実践者に会い、共にキャンプ場の開拓をして火を囲み、トランジションを体験
 - その取り組みを始めたきっかけ
 - 挑戦を始めてからの心情・価値観の変化
 - 挑戦の中での新たな出会い
 - 地元の方の捉え方の変化
- ・発電所廃止をターニングポイントとしたまちづくり
 - 生物多様性の森づくりを行っている森に入って取り組みを体感
- ・尾鷲市のトランジションの取り組みを体験し、自社のトランジションを改めて考える

出会える人



一般社団法人つちからみのれ
ファウンダー 伊東 将志さん
発電所の廃止をターニングポイントと捉え、尾鷲市のゼロカーボンシティ宣言など様々なことを仕掛けている仕掛け人。尾鷲の社会課題を地域資源と捉え、常に社会課題に対して挑戦し続ける。



尾鷲ヤードサービス株式会社
岡 文彦さん
笠松 千恵子さん

鉄から土への業態転換＝ジャストトランジションに取り組みされている。まさに変革の渦中で様々な心境の変化を体感されてきた。



尾鷲市役所 水産農林課 課長
芝山 有朋さん

尾鷲市のこのトランジションを行政の立場で推進するキーパーソン。ゼロカーボンシティ宣言後の脱炭素と教育を軸にしたまちづくりを進める中心的存在。